

グローバル COE 講演会報告書

大学院理学研究科 杉山 弘

研究集会名:グローバル COE 講演会

講演者: Dr. Muthiah (Mano) Manoharan (Senior Vice President of Drug Discovery Alnylam Pharmaceuticals, USA)

演題: “Making Drugs out of siRNAs”

場所: 京都大学理学研究科2号館第1講義室(120号室)

日時: 2011年6月16日 16:30-18:00

参加者: 化学専攻 大学院学生、学部生、博士研究員、教員

参加者総数: 約 30 名

講演内容:講演者は RNAi 技術で有名な Alnylam 社の Senior Vice President である。通常の薬品はタンパク質を標的とするようデザインされているのに対し、RNAi はセントラルドグマで上流にある RNA をターゲットにしている。講演では RNAi の特徴から始まり、最終的に薬として機能させるため、どのように開発を行っていったのかについて詳しくご講演頂いた。様々な化学修飾を siRNA に施すことで、安定性や、ドラッグデリバリーの問題を解決しており、化学によるバイオテクノロジーの発展という非常に興味深い講演であった。

また、講演者は気さくな人柄で、質疑応答では院生やポスドクを中心に活発に議論がなされた。講演後に、講演者と参加者が交流する機会を設けさせていただき、講演内容だけでなく、企業における研究の話なども伺うことができ、非常に有意義な交流となった。

